



隊友千葉だより

【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000~1500 山田理事役

平成30年7月号 (No. 54) 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

各地で会勢拡大のための説明会・懇親会を実施

県では、退職隊員の隊友会への入会促進を図るため、5年前から駐屯地・基地最先任上級曹長・先任伍長等に対し、会勢拡大プロジェクトチームが隊友会に係る説明会を実施している。今年度は、これまで下総航空基地及び下志津駐屯地で実施した。

◆下総航空基地

5月24日(木)、小淵会長、安達副会長、増山白井支部長、満園沼南支部長、県理事役・監事役計10名が参加して、昨年と同様に説明会及び懇親会を実施した。会長以下で3術科長伊藤海將補、下総航空群司令浅岡1海佐及び航空団司令官西海將の順で指揮官を表敬後、15時30分から基地大会議室において、昨年度説明会の対象だった各隊先任伍長(航空団、総航空群、203航空、203整備、3術科、総支処、移通隊、総シ通分)及び各隊曹長に加え、隊友会の入会手続きを実施する各隊総務担当幹部にも出席して頂き、総勢70名の隊員に対し、隊友会入会をお願いした。

17時から基地厚生センターにおいて、各指揮官、各隊先任伍長及び各隊総務担当幹部の計21名、隊友会会員10名の合計31名が一堂に会し、懇親会を実施した。小淵会長挨拶、西司令官挨拶の後、水岡理事役によ

る「千葉県内部隊隊友会入会者数の状況」の説明、教官団先任伍長 石田曹長による乾杯と幕を開け、18:45日没、国旗降下後、安達副会長による中締め挨拶でお開きとなった。【担当理事役 三浦洋】

◆下志津駐屯地

7月4日(水)、小淵会長、中尾四街道支部長、四街道支部副部長 堀俊勝各会員、千葉若葉支部副部長 佐治会員、水岡・天草・大根・筒井・門脇・門岡・山田・小笠・精山各理事役計14名が参加して、説明会及び懇親会を行った。16時から近々定年退官予定の現役隊員30名に駐屯地講堂に集まってもらい、筒井理事役が隊友会の概要(目的、組織、所属人員、実施事業、福利厚生、会費など)を説明し、入会をお願いした。この際、他の種々あるOR会との違いを、それぞれの会の目的、加入要件、会費などを対比して説明し、隊友会の意義を強調した。更に「隊友会には現役時代と同じ階級があるの?」、「仕事が終わりに活動はどうやってするの?」など隊員からの質問に答え、また、「隊友会の印象はどう?」など会員からの質問を交し、相互理解を深めた。

途中、会長等は、木口雄司高射学校長兼下志津駐屯地司令を表敬訪問し、説明会の目的などを説明し、入会促進をお願いした。その後、17時半から駐屯地厚生センター

において定年退官予定者、駐屯地司令、高射学校各部室長、高射教導隊長、駐屯地最先任上級曹長、高射教導隊先任上級曹長、昨年6月に高射学校で退官し隊友会に入会した日笠大弘氏など25名に参加して頂き、懇親会を実施し、大いに盛り上がった。【担当理事役 筒井紀昭】



下総基地 小淵会長挨拶



教官団先任伍長 石田曹長乾杯



海自下総基地先任伍長等の懇親会



下志津 小淵会長挨拶



筒井理事役の説明



下志津 懇親会

1へり団長、空自木更津支処長を表敬訪問

7月5日(木)、小淵会長、柏谷木更津支部長及び青木理事役は、それぞれ3月及び4月の異動で交代された第1へりコプター1団長兼着木更津駐屯地司令 酒井秀典陸将補及び空自第4補給処木更津支処長兼着木更津分屯基地司令 河野 学1等空佐を表敬訪問し、相談役就任をお願いした。



第1へりコプター1団長 酒井秀典陸将補



空自第4補給処木更津支処長 河野 学1等空佐

「ああ特攻勇士之像」慰霊祭参列

5月26日(土)、11時から千葉県護国神社の「ああ特攻勇士之像」前において斎行され、特攻で散華された真出身138柱を慰霊した。

隊友会からは、安達副会長、山田顧問、櫻井千葉稲毛支部長、河西監事役、三浦理事役及び沼南支部長高坂会員、渡辺会員、佐藤会員の8名が参列した。また、特攻隊戦没者慰霊顕彰会から小倉理事及び金子編集長、千葉県銀行会から井上顧問及び増田会員が参列された。

本勇士之像は、さきの大戦で国を思ひ、故郷・家族を想いながら生還を期しえない特攻として出撃、亡くなられた英霊の記憶を県民の内に水く留めることを目的に会員各位からも浄財を頂き、平成23年5月26日に竣工・除幕したもので、慰霊祭は毎年、5月26日に執り行われ、今回が8回目である。

【千葉県護国神社担当理事役 三浦洋】



旧海軍駆逐艦「沖風」慰霊碑清掃

夷隅支部は、6月9日(土)、定例の旧海軍駆逐艦「沖風」慰霊碑周辺の草刈り及び清掃作業を支部員6名にて、午後1時から3時まで行い、今年度1回目を終了。次回は、11月に予定。

【夷隅支部長 高橋清三】



平成30年度隊友会定時総会参加

6月19日(火)、アルカディア市ヶ谷において開催された県隊友会長等会同及び定時総会に小淵会長が参加した。正会員の皆様から頂いた議決権行使委任者数は2091名で県の議決権行使率は68%であった。協力頂いた皆様へ感謝申し上げます。隊友会定款の一部変更(定款第4条第1項の隊友会の行う事業に「職業紹介事業及び労働者派遣事業に関すること」を追加)は、案のとおり議決された。これで事業許可申請が可能となった。

今年度、県から以下の6名の方(敬称略)が表彰された。例年、同総会の式典の中で行われる表彰式は、会場の都合で中止となった。本来なら県会長から伝達するところですが、それもままならず、後日、受賞者個人に直接郵送又は支部長から伝達して頂いた。

- ◆正会員の部(各県隊友会長推薦) 高橋清三、今村夏雄、青木清治、三浦洋、後藤正幸
- ◆正会員の部80歳以上(各県隊友会長推薦) 青木 孝

◆各県隊長推薦で海自第3術科学校が感謝状を贈呈された。



新しい憲法を制定する推進大会

新憲法制定議員同盟（会長 中曽根康弘 元首相）は、5月1日（火）、15時半から憲政記念館において約1500人が参加して1回目となる「新しい憲法を制定する推進大会」を開催した。第一部では、田久保忠節氏及び平井小絵氏の講演、東儀秀樹氏の雅楽演奏があった。第二部式典では、東儀氏演奏による国歌斉唱に続き、27日で100歳を迎える中曽根元首相及び外遊中の安倍総理からのメッセージが代読された。安倍総理は、憲法に自衛隊を明記し、違憲論争に終止符を打つことは今を生きる私たちの責務と訴えた。各党代表挨拶では、細田博之自民党憲法改正推進本部長、斎藤鉄夫公明党幹事長代行、松沢成文希望の党参議院議員団代表、馬場伸幸日本維新の会幹事長が憲法改正への取り組みを紹介した。会場内からは国会での議論が囁々として進まない現状に厳しい声が発せられた。その後、経団連、日本商工会議所、経済同友会、日本青年会議所の各団体からの意見表明と小杉直康本原議による地域活動の紹介があった。

第20回公開憲法フォーラム

民間憲法講論（代表 櫻井よしこ）及び美しい日本の憲法をつくる国民の会（共同代表 櫻井よしこ、田久保忠節、三好 達）は、新憲法制定議員同盟の後援を受け、共催で、5月3日（木）、憲法記念日13時半から砂防会館において、「今こそ、憲法改正（開憲）を」と題したフォーラムを開催した。会場で1200名が聴講した他、全国155の会場にインターネット配信された。

最初に民間憲法講論副代表の西 修氏から主催者代表挨拶、続いて安倍晋三自由民主党総裁（ビデオメッセージ）及び中曽根康弘新憲法制定議員同盟会長から挨拶挨拶（代読）があった。その後、早期の国民投票実施を求める各界からの提言、国会発議に向けて自民党、公明党及び日本維新の会から挨拶があり、それぞれの考えを表明した。

櫻井よしこ代表は、結語で「明治維新から150年 列強諸国の植民地にならなくてよかった。今は北朝鮮、中国、米、露の状況をみても歴史的大転換の時代。国土・国民・暮らし・文化・国民の精神を正していかなければならない。そのため国の力は経済力のみならず防衛力も必要である。反安保・反自民・反憲法の野党は審議に帰すべき。国際社会は待ってくれない。憲法改正は大事な第一歩。国民は覚悟を持って判断する必要がある。」と訴えた。



館山支部総会・懇親会
上右：総会 川村巖支部長挨拶
上左：懇親会 館山基地所在指揮官・幹部・先任伍長から自己紹介・近況報告があり盛り上がった。



西 修副代表 挨拶
櫻井よしこ代表総括

各地で支部総会等を開催

5月以降、館山、木更津、市川、八街、船橋、千葉稲毛、白井、印西、山武東金、習志野、大日精化の各支部は、総会・講演会・懇親会を開いた。来賓として地元国会議員、県議会議員、市議会議員、自衛隊各部隊長及び特別会員の皆様に出席頂き、会員と懇親を深めた。



千葉稲毛支部総会



大日精化職域支部総会・新入会員歓迎会
6月30日（土）、新入会員5名を迎えて成田市内ホテルにて総会及び歓迎会を実施



大日精化新入会員挨拶
最後は「同期の桜」を斉唱

30年5月・6月入会者 入会深謝・隊友会の発展にご協力を

【敬称略・順不同】

- 【香取】 荻澤 幹征（陸）
- 【流山】 成田 穂音（陸）
- 【船橋】 土屋 弘行（陸）
- 【成田】 関 密利（海）
- 【千葉稲毛】 飯田 誠一（海）
- 【八千代】 宮藤 正裕（陸）
- 【千葉若葉】 若生 裕幸（陸）
- 【長生】 清水 賢大（陸）
- 【我孫子】 松木 順之（海）
- 【千葉中央】 豊崎 紀男（陸）
- 【流山】 正賀 昌子（海）
- 【木更津】 齋藤 隆則（陸）
- 【流山】 田中 賢太（陸）
- 【市川】 岡田 涼太（陸）
- 【千葉若葉】 松崎 和則（陸）

家族支援TTXに参加

陸自東部方面隊（總監 住田和明陸将）は、平成30年度自衛隊統合防衛演習（30JXR）に連携して6月11日（月）、11時から17時まで明神町駐屯地研修棟において家族支援連携会同（家族支援TTX「Table Top Exercise」）を開催した。

總監部行政副長・人事部長、東方管内の駐屯地業務隊長（業務隊長を担当する学校等を含む）、地本、担当者等が参加し、部隊・業務隊と家族会・隊友会の取組状況について情報共有し、各種災害等において連携

に家族支援活動を実施するための連携強化を図った。

住田總監は、挨拶で「即応性とは、行けと言われれば直ちに行くことだ。その際、隊員にとっての気掛かりは、残された家族の状況だ。隊員、また部隊自らも家族の安否確認等に努力するが、どうしても及ばないところがある。不足するところは家族会・隊友会の皆様が頼りになる。ご協力をお願いされた。」

その後、總監部厚生課長から家族支援の考え方や東京都心南部直下地震被害想定（中央防災会議）など全般説明の後、各都県の主幹（取り纏め）業務隊から支援体制・施設推進事項等について説明があった。家族会及び隊友会からは、各都県業務隊の施策に対する質問・要望事項が述べられ、また、他県のやり方を参考にすると、部隊と関係部外団体の連携を深めた。

千葉県からは、習志野駐屯地業務隊長神野忍2陸佐が主幹業務隊として県内駐屯地業務隊・学校を代表して発表した。東葛地区及び千葉沿岸地域に被害（死者1千4百人、要救助者5千人、建物全壊4万2千戸）が集中するという県の被害想定の特徴、支援要望（403件）の内、震度6弱以上の被害集中地域在住の支援要請者は288件（71%）に上ることを説明し、①東京都等からの帰宅困難者が多数発生、②家族会・隊友会支援担当員自身が被災する可能性が高い、③固定電話・携帯電話が一時不通になる可能性が高いという被害の特性を考慮した家族支援要請の検討、④支援要請家族の自宅のみならず避難所・出先等も事前（支援）の支援担当員被災時の予備手段の検討、⑤地本専集事務所自衛隊回線、災害派遣部隊無線

機活用の活用について発表があった。

終了後、隊内クラブで意見交換会が開催され、関係者の連携を更に強化した。



県隊友会ゴルフコンペ

快晴のもと会員の親睦を深め終了

5月22日（火）、ムーンレイクゴルフクラブ及原コースにおいて62名が参加して第12回大会を実施した。8時40分に練習グリーン付近に集合、前回優勝で幹事支部である柏谷木更津支部長から競技説明の後、小淵会長から「体調に気を付け、大いに楽しんで下さい」と挨拶があった。その後、アウト・イン各9組が順次スタート、新緑の中、和気あいあい、競技し、全員無事ホールアウトした。結果は、以下のとおり。中でも団体戦の順位は、四街道支部と市川支部をそれぞれの上位3名の合計スコアは、くしくも18、6で同じであったが高年齢上位で四街道支部の優勝となった。女性1名を含め会員の友人・家族の方にも多数ご参加頂き深謝。また本コンペを担任して頂いた木更津支部長以下、支部会員の皆様にも参加者全員、感謝します。なお、来年は、



団体優勝 四街道支部



個人優勝 山下式繁樹会員

同日ゴルフ場で5月21日（火）に四街道支部幹事を開催予定。

- ◆支部対抗団体戦
- 優勝 四街道支部（A）
- 2位 市川支部
- 3位 木更津支部（B）
- ◆個人戦（敬称略）
- 優勝 山下茂樹（市川支部）
- 2位 元良文治（木更津支部）
- 3位 鈴木輝雄（千葉緑支部）